

BTC NEWS

BTCニュース

2026年(4) No.145

夢 に向 か っ て

歩度を詰めて

駈

歩

進め

BTC 研修生訓練中
SNS フォローをお願いします !!



公益財団法人 軽種馬育成調教センター TEL 0146-28-1001

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| ① 調査研究①..... 1
生産地疾病等調査研究の報告(総括)
一日高における寄生虫管理のこれからー | ④ 調査研究②..... 10
リン酸チアニアの馬病原性細菌に対する殺菌効果ならびに
馬飼養環境資材での継続的な殺菌効果の検証 |
| ② 馬に見られる病気..... 4
2025年帯広競馬場で流行したウマコロナウイルス感染症 | ⑤ 海外最新情報①..... 12
英国の調教について(マイケル・スタウト厩舎)① |
| ③ 競馬の箱馬車..... 8
特別展「馬事文化財団設立50周年記念
日本競馬の国際化」 | ⑥ 海外最新情報②..... 16
海外研修報告③ (Newmarket Equine Hospital、Baker McVeigh) |
| | あとがき..... 20 |



公益財団法人
軽種馬育成調教センター 発行

お問い合わせ先 TEL : 0146-28-1001

物産アニマルヘルス

動物用医薬品

馬の便秘症における
消化管運動機能低下の改善に
優れた効果を発揮!

馬用消化管運動機能改善剤
指定医薬品 使用基準

プロナミド®E散1%

(モサブリドクエン酸塩水和物)



※詳細は添付文書をご参照ください。

製造販売元

物産アニマルヘルス株式会社

大阪市中央区本町2-5-7

<https://www.bussan-ah.com>

[2023年6月]

PRONAMID® E Powder 1%

FUJIFILM
Value from Innovation

馬用サプリメント
Pure Salacia
ピュアサラシア



サイエンスに裏付けられた腸内環境サポートサプリ

特長

- 1 天然植物サラシアに含まれるサラシノールが、
馬の腸内の乳酸菌比率を増加させる ※1
- 2 エネルギーの吸収に適した腸内環境に整える ※1 ※2

※1 2016年 日本ウマ科学会にて発表

※2 Jumpertz R et al., Am J Clin Nutr, 94(1):58-65, (2011)

給餌方法

成馬	仔馬
(500kg換算): 8~16 g/日 (かさ目安30~60 mL/日)	(100kg毎): 1.6~3.2 g/日 (かさ目安6~12 mL/日)

- 食餌回数に分けて飼料に混合して与えてください。
- 状態に応じて適宜、給餌量を調整してください。
- 水に溶かしてシリンジで直接与えることも可能です。

■名 称 馬用サプリメント ピュアサラシア

■内 容 量 480 g、240 g

【注意事項】 馬以外に使用しないでください。

※本製品は(財)競走馬理化学研究所の薬物検査にて
問題ないことを確認しています。

□ 本製品についてのお問い合わせは

株式会社 富士フイルムヘルスケア ラボラトリー 経営企画グループ マテリアルチーム

〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-1-1 新宿ファーストタワー11階

TEL:03-6300-6465

詳しい情報は
こちら▶



生産地疾病等調査研究の報告（総括） 一日高における寄生虫管理のこれから

日本中央競馬会 日高育成牧場 生産育成研究室 室長 村瀬 晴崇

はじめに

これまでBTCニュース139号～144号にかけて、消化管内寄生虫に関する記事を掲載してきました。139、140号では米国馬獣医師協会AAEPが提唱するガイドラインを解説し、142～144号では日高地区で取り組んだ調査研究について報告しました。本稿ではこれまでの内容を振り返りながら、今後の日高における寄生虫管理の方向性について整理したいと思います。

*寄生虫は地域の気候風土、飼養管理状況、放牧地の状況等により異なります。東北や九州は状況が異なる可能性があることをご留意ください。また、胆振地方を含めて北海道と記載すると、範囲が広がってしまうため、本稿では「日高」と表記させていただくことをご了承下さい。しかしながら、今後の寄生虫対策の「考え方」についてはどの地域も基本的には同じです。

日高地区の調査で明らかになったこと

(1) 寄生虫は過去の問題ではない

調査の結果、子馬において回虫や葉状条虫に起因した手術症例や死亡例があることが明らかになり、駆虫薬が広く普及した今日においても、消化管内寄生虫は重要な疾病であることが確認されました。

(2) 現在の駆虫体系は過剰傾向

当歳馬は1ヵ月齢で初回駆虫を行い、以降1～2ヵ月間隔で投与している牧場が多く、繁殖牝馬は2～4ヵ月間隔が多いなかで、6ヵ月、12ヵ月間隔の牧場もあるなど牧場間のバラツキが大きいことが分かりました。BTC育成牧場の多くにおいては2ヵ月間隔の定期的な駆虫が行われていました。

AAEPのガイドラインに記載されている投与頻度は、当歳は年4～5回、4歳未満の若馬は3～4回、成馬は年

1～2回+高排出馬に対して1～2回追加です。AAEPガイドラインと比較すると、日高地区では現在も従来の短い間隔による定期駆虫が広く実施されていることが分かりました。

(3) 薬剤耐性は既に存在する

円虫、回虫においてイベルメクチン耐性が広く確認されました。特に回虫については調査牧場の88%が耐性と判定され、薬剤耐性は将来の懸念ではなく、現在すでに直面している課題であることが明らかになりました。

なぜこのような状況になったのか

回虫に対してイベルメクチン耐性が広がった原因は、これまでイベルメクチンに依存しすぎたからと考えられています。イベルメクチンは過去重大な問題だった大円虫による被害を劇的に減少させ、また子馬の回虫症にもよく効きました。そのため、イベルメクチンの「定期的な駆虫」を励行され、「理想的な駆虫プログラム」が求められました。その中で、虫卵をゼロに保つことが目標にすり替わってしまい子馬では1ヵ月間隔の駆虫が定着したのは必然であったと思います。

この短い間隔による反復投与によって、徐々にイベルメクチンに強い（効きづらい）寄生虫が選抜され、環境中に増えていったと考えられています。また、イベルメクチンを投与していれば十分予防できたため、虫卵検査を行う習慣が途絶えてしまったことも、薬剤耐性に気づくのが遅れた原因と言えます。

日高における今後の方向性

今後、我々はどうアプローチしていけばよいのでしょうか？再三述べていますが、これまでのような「理想的な駆虫プログラム」という考えから脱却し、「牧場ごとに検査を

行い、有効な駆虫薬を用いる」という考え方にシフトする必要があります(図)。

特にご留意いただきたいポイントを以下にまとめました。

(1) ターゲットとなる寄生虫を理解する

日高において、ターゲットとすべき消化管内寄生虫は円虫(大円虫、小円虫)、回虫、条虫(葉状条虫)です。これらがどのステージの馬に病害を及ぼすのか、季節が生態にどう影響するのかを理解しましょう。

(2) 駆虫薬を使い分ける

駆虫薬は商品名だけではなく、イベルメクチン、フルベンダゾール、ピランテルといった成分名を確認し、それぞれの作用機序や有効な寄生虫を理解しましょう。

(3) 虫卵検査を活用する

虫卵検査によって、牧場に存在する寄生虫の種類と汚染度がおおよそ分かります。

また、薬剤耐性化は虫卵数減少試験で判定します。これは駆虫前と駆虫2週間後の糞便中虫卵数をカウントし、その減少率から耐性化(駆虫薬の効果)を推定するものです。厳密な判定基準は非常に複雑ですが、減少率が95%以上であれば問題ないと考えられます。厳密な判定に興味がある方は専用ウェブサイト(<https://www.fecrt.com>)をご利用ください。誰でも無料で判定することができます。一般的に検査には虫卵数200EPG以上が6頭必要とされていますので、少なくとも10頭程度検査するとよいでしょう。

(4) 駆虫薬のみに頼らない

寄生虫は馬と環境を循環しているため、寄生虫対策ではその生活環を断つことが重要です。例えば虫卵は糞中に排出され、牧草を介して馬に感染します。そこで、放牧地のボロを拾う、放牧密度を下げる(密度が高いとボロ周囲の草を食べるため感染リスクが上がる)、放牧地と採草地を入れ替える(環境から馬を除く)といったことが対策になります。寄生虫というテーマではどうしても駆虫薬に話が集中してしまいがちですが、放牧地の汚染度を下げするためには、環境対策が重要であることも忘れてはいけません。

子馬における寄生虫管理のポイント

子馬においては回虫と条虫の対策が重要です。回虫についてはイベルメクチン耐性が著しく広がっていますので、各牧場で一度検査することをお勧めします。耐性が疑われ

る状況であれば、イベルメクチンを投与せずベンズイミダゾール系駆虫薬を用いてください。調査では、イベルメクチンが効かなかった全例において、ベンズイミダゾール系駆虫薬が有効でした(投与後に虫卵数がゼロになった)。国内製品であればフルベンダゾールです。これは粉末であるため投与に手間を要しますが、回虫対策としては重要な選択肢です。海外製品のフェンベンダゾールはペースタイプです。いずれも1回の投与では不十分なので3日間は連続で投与してください。海外の論文では発症のピークが5ヵ月齢と報告されていますが、日高のデータでは3ヵ月齢でした。そのため、2~5ヵ月齢について重点的に回虫対策を講じる必要があります。

葉状条虫症に関して、日高は諸外国に比べてかなり寄生リスクが高いと考えられます。ダニが媒介することから、夏から秋に寄生し、冬に発症すると言われています。実際、調査結果においても冬から春にかけての発生が多く見られます。ただし、夏場にも発症例があるため、通年で警戒する必要があるかもしれません。また、海外のガイドラインでは年1回の駆虫で良いと書かれていますが、日高の経験豊富な獣医師は実体験として1回では不十分と述べる方が多く、地域によっては2回以上の投与が必要かもしれません。条虫にはそもそもイベルメクチンが効かないため、プラジカンテルを投与する必要があります。国内製品にはプラジカンテルの単剤がなく、イベルメクチンとの合剤が用いられます。

長らくプラジカンテル耐性条虫は報告されていませんでしたが、2023年にケンタッキーで報告されました。そして最近になって日高においてもプラジカンテルが効かないケースが出ているようです。プラジカンテルが効かない場合、多くはもう一つの駆虫薬であるピランテルも効かないようで、現時点では代替駆虫法がなく、今後の研究が待たれる状況です。条虫については虫卵検査の検出率が非常に低いことが難点でしたが、使用する糞便の量を増やした特別な検査方法が報告されており、ある程度の頭数を検査すれば、牧場単位で効いているか効いていないかの推定は可能と言われています。気になる方はかかりつけの獣医師にご相談ください。

繁殖牝馬における寄生虫管理のポイント

繁殖牝馬で注意すべき寄生虫は円虫と条虫です。

円虫は大円虫と小円虫に分類されます。馬への病原性が高く警戒すべきは大円虫ですが、大円虫は生活環が長く（虫卵再出現期間は6～7ヵ月）、イベルメクチン耐性も認められていないため、現在のところ1年に1～2回のイベルメクチン投与で予防可能です。一方、小円虫は虫卵再出現期間が2～3ヵ月と短いため、駆虫後も比較的短期間で虫卵が検出されます。しかし小円虫は大きな病害がないため、多少の虫卵検出は許容されます。虫卵排出数の多い個体については、放牧地汚染の原因となるため、上記年1～2回の投与に加えて追加の駆虫を検討してください。円虫についてはこのように2段階で考えます。ベンズイミダゾール系はあまり効かないので円虫駆虫薬としてはあてにしないでください。

育成馬・乗馬における寄生虫管理のポイント

育成牧場や乗馬クラブの多くは厩舎飼育であり、環境（放牧地）にアクセスしないため、寄生虫リスクは大きく低下します。しかし、不思議なことに円虫卵は検出されますので、イベルメクチンの投与は必要です。投与回数については、大円虫の対策を目的とした年1～2回程度のイベルメクチン投与を基本とし、虫卵検査結果を参考に追加投与を検討します。放牧地、草パドックに放さない環境であれば条虫リスクは極めて低いと考えられます。

若馬は成馬に比べて、寄生虫への免疫が十分ではないため、年3～4回の駆虫が推奨されています。育成厩舎に入厩する1歳夏には回虫の病害リスクはほぼありませんので、当歳馬のような2ヵ月間隔の駆虫は不要と思われます。

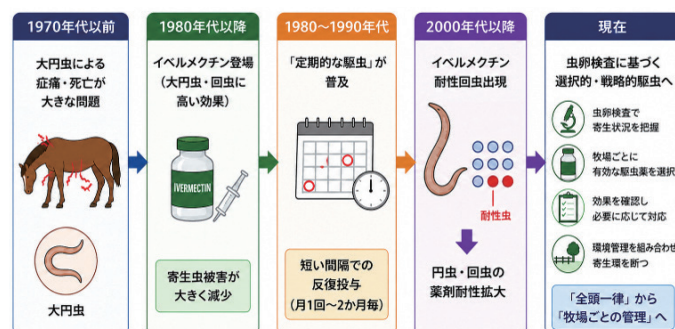
放牧地にアクセスしない環境では寄生虫の生活環が形

成されないため、仮に耐性化してもそれが持続するリスクは低いと考えられます。実際、イベルメクチン耐性円虫が検出された育成牧場がありましたが、翌年には十分な効果が確認されました。しかしながら、これについては検証が十分ではないため、現時点で耐性化を全く心配しなくてよいとまでは断定できません。

おわりに

今回、獣医師、生産者、関係機関が連携して調査研究に取り組み、日高地域における現状を明らかにしました。これまで耐性寄生虫を対岸の火事のように思っていた方々も、日高のデータを目の当たりにして危機意識をもつことができたのではないのでしょうか。

寄生虫対策は従来の考え方から新しい考え方に移行している最中です。新しい駆虫薬の開発は期待できないため、駆虫薬耐性は今後も世界的な課題であり続けます。国内においても、この3年間の調査を足掛かりに、今後も地域一体となって取り組んでいくことが重要です。



※年代はおおよその目安です。内容は一般的な流れを示したものです。

図 寄生虫管理の変遷～考え方の変化と今後の方向性～

日本ウマ科学会第 39 回学術集会のお知らせ

日本ウマ科学会第 39 回学術集会を、2026 年 11 月 30 日（月）～12 月 1 日（火）に KFC Hall & Rooms（東京都墨田区横綱 1-6-1）において開催します。プログラムとして一般講演、優秀発表賞候補講演、臨床委員会企画シンポジウム、文化芸術特別講演、ランチョンセミナー（案）、伯楽会展示、企業展示等を予定しておりますが、状況により開催方法や内容を変更することがあります。最新情報は、日本ウマ科学会ホームページ（<https://jses.jp>）をご覧ください。

なお、日本ウマ科学会「認定馬臨床獣医師」認定のための第 7 回認定試験については、2026 年 12 月 1 日（火）に同会場で実施します。

2025年帯広競馬場で流行したウマコロナウイルス感染症

アテナ統合獣医ケア Ban'ei 競走馬診療所 代表 福本 奈津子

はじめに

ウマコロナウイルス (equine coronavirus: ECoV) は、エンベロープを持つ+鎖 RNA ウイルスで、馬に発熱、食欲不振、下痢などの消化器症状を引き起こします。日本国内ではこれまでに、2004年、2009年、2012年の3回、北海道帯広競馬場にて ECoV の流行が報告されているほか、2020年の東京競馬場の乗馬センターでの発生が報告されています。

2025年1月、帯広競馬場において、発熱、食欲不振を示す馬が急増し、原因究明を行った結果、ウマコロナウイルス感染症と診断されました。今回は、これで4度目となった帯広競馬場でのウマコロナウイルス感染症の流行の概要を解説します。

ウマコロナウイルス感染症と診断されるまでの経過

2024年末より、食欲不振との稟告で、歯の鑢整を依頼されるケースが帯広競馬場内で増加傾向でした。発熱はなく、しかし、歯が原因で食欲が減弱していると思われないう、原因不明の食欲不振個体が散見されていました。年が明けて2025年1月4日、同厩舎で同時に3頭が、同症状（発熱・食欲不振）で受診したのを皮切りに、1月10日には競馬場内で同症状の患畜が急増。その爆発的な伝播力から、明らかにウイルス性の感染症が疑われました。過去3回、帯広競馬場にてウマコロナウイルス感染症が流行していたため、直ちに十勝家畜保健衛生所に検体（鼻腔スワブ、血液）を3厩舎から3検体持ち込み、総合病性検定依頼をしました。結果は、1. 細菌学的検査：陰性、2. ウイルス学的検査：①馬ヘルペスウイルスⅠ型 陰性 ②馬ヘルペスウイルスⅣ型 陰性 ③馬インフルエンザウイルス 陰性 ④馬コロナウイルス 陰性 と、全検体全検査陰性となり、原因究明とはなりませんでした。

私自身、過去3回の ECoV 流行時に実際に携わっていなかったこと、及び予備知識が不足していたために、ECoV の診断には糞便の検体が必要不可欠であるということを知らず、また家畜保健衛生所からの採材指示もありませんでした。牛のコロナウイルス病は消化器症状だけでなく、牛呼吸器病症候群 (BRDC) の原因にもなることから、鼻腔スワブで診断していた経験もあり、種差を認識していませんでした。実際、この時点での消化器症状は食欲不振のみで、下痢症状を示す個体は1頭も存在せず、糞便検体の提出の必要性を感じることはありませんでした。しかし、ウマコロナウイルス感染症を疑うのであれば、糞便の検体の提出は必要不可欠ということが、JRA 競走馬総合研究所の指示により判明し、土日祝日を挟んだ後の1月15日に再び8厩舎8検体の糞便を提出し、全検体 ECoV 陽性という結果になりました。

初発から11日後ようやく、猛威を振るっている感染症の正体は ECoV であるという確定診断となったのです（表1）。

表1 ECoV 確定診断までの経過

日付	経過
2024/12月	食欲不振の稟告を多く聴取
2025/1/4	同厩舎で3頭同時に発熱・食欲不振
2025/1/10	急速に患畜増加 →総合病性検定（3厩舎3頭）：鼻腔スワブ・全血 全検体 有意菌陰性、EHVI 型・EHVIV 型・EIV・ECoV：陰性
2025/1/14	総合病性検定再提出（8厩舎8検体）： 鼻腔スワブ・全血・糞便
2025/1/15	全検体 ECoV 陽性

帯広競馬場での流行の推移

仮に、1月4日から ECoV が流行したとすると、7日目

となる1月10日から爆発的に拡大したことがわかります（図1）。ECoVは感染した個体の糞便を介して、経口的に感染する糞口感染様式です。そのため、飛沫感染するウマインフルエンザなどの呼吸器病と比較すると、急速に伝播しにくいと考えられますが、1月7日～9日の3日間のレース開催後に罹患頭数が急増したことから、装鞍所など、他厩舎の馬同士の距離が縮まる機会があったことが要因と考えられました。

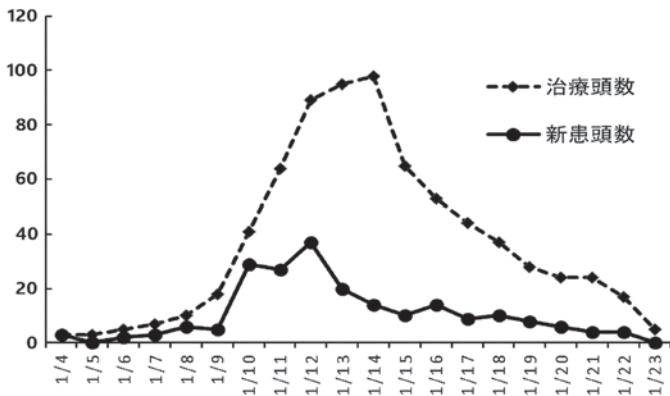


図1 ECoV 感染頭数推移

では、感染馬の糞便1グラムあたりにどの程度のウイルスが存在しているのか調査したところ、今回検査した中で一番多かった個体は $9.0 \times 10^9/\text{g}$ （1グラム中90億個）となりました。

現在、帯広競馬場内では、寝藁の使いまわし行為は行われておらず、個体ごとに別々の飼い葉桶で管理されていることから、感染個体の糞便が物理的に容易に混入するような状態ではないと考えられました。しかし、一部の厩舎では、寝藁を清掃するフォークと粗飼料をはぐすフォークが共用であったことから、厩舎内での感染伝播につながった可能性は考えられます。

帯広競馬場は帯広市の中心部にあるとはいえ、特に厳冬期では、最高気温が氷点下であることが珍しくありません。このため、水道凍結などの使用環境を理由として、冬期間は馬体洗浄をしない風習であることから、被毛には糞尿の粉末がついたままとなります。これに加え、2025年は1月であっても積雪のない、強風が吹くような珍しい気候であったことから、環境中に多量のウイルスを含んだ乾燥した糞便が浮遊しており、そのことが感染源となった可能性も考えられました。

発生から19日後の1月23日を最後に終息となりましたが、この間、レース開催は続行されました。

ウマコロナウイルス感染症の症状

当院調べで、帯広競馬場の在厩馬の約25%である176頭が発熱や食欲不振などの症状を示し、うち83.5%が発熱、98.9%が食欲不振、10.2%が下痢や疝痛などの消化器症状を呈しました（表2）。

表2 有症状馬の内訳

有症状馬頭数	176頭	（在厩馬の約25%）
発熱	147頭	（83.5%）
食欲不振	174頭	（98.9%）
消化器症状	18頭	（10.2%）

また、発熱馬のうち、40度以上の高熱を呈する馬が47.6%と約半数近くとなりましたが、呼吸器症状を示す馬は認められませんでした。治療に要した日数は、平均3.7日で、概ね1～2日で解熱しましたが、食欲不振の症状が長引く個体が多く認められ、解熱後も1週間ほど続く傾向にありました。中には数ヵ月単位で食欲が回復しない個体も存在し、ECoVに罹患した個体は解熱して下痢症状も認められず治療は終了しても、長期間にわたって消化器にダメージが残るようでした。また、流行時には疝痛症状を呈する馬が通常時よりも増加傾向にあり、症状も痛みが強く、長引く傾向にありました。

ウマコロナウイルス感染症といえば下痢をするという先入観がありがちですが、今回発熱した個体の中で下痢の症状を示した馬は約1割程度に留まり（図2）、既報と同様でした。



図2 下痢症状

帯広競馬場内での流行状況

ECoV の流行状況を調査するため、発症馬から、糞便または直腸スワブ、鼻腔スワブおよびペア血清と一部の馬で全血を採取しました。ECoV 遺伝子検出にはリアルタイム PCR、抗体検出には中和試験を実施しました。血液検査では白血球数と血清アミロイド A を測定しました。

結果は、リアルタイム PCR で、26頭中24頭の糞便または直腸スワブから ECoV 遺伝子が検出されました。一方、鼻腔スワブからは24検体中5検体しか陽性となりませんでした。ECoV は呼吸器では増殖しないとされていることから、この結果は鼻先が陽性糞便に触れ、そのウイルスを鼻腔スワブで拾ったものと考えられました。

中和試験では、26頭中25頭で中和抗体価の上昇を確認しました。

血液検査では18頭中8頭において白血球減少を呈し、18頭中14頭で SAA の上昇を認めました。これらはウマコロナウイルス感染症の典型的な症状と一致しました。

全26頭が PCR または中和試験で陽性であったので、全頭が ECoV に感染していたことが確認されました。

以上のことから、今回の有症状馬はほぼ100%ウマコロナウイルス感染症であったことが推察されます。また、獣医師が治療を依頼されなかった食欲不振馬はさらに多数存在していたことから、帯広競馬場内での罹患率は50%を軽く超えていたと推測しています。

ウマコロナウイルスの遺伝子解析結果

遺伝子配列および系統解析の結果、今回流行した株は Obihiro2025株と分類されました。S 遺伝子および N 遺伝子は、ECoV 間で高度に保存されていることが示されましたが、系統解析では、Obihiro2025株は、2004年、2009年、2012年に帯広競馬場内で検出された過去の株とはグループを形成しませんでした。これらのことから、2025年の発生は、前回の発生とは異なる ECoV によって引き起こされた可能性が示唆されました。しかし、ウマコロナウイルス流行時以外の疫学情報がないため、2025年のウイルスの起源は不明です。

ウマコロナウイルス感染症の疫学調査

今回の流行をきっかけに、帯広競馬場ではウマコロナウ

イルス感染症の疫学調査を開始しています。帯広競馬場での流行は、今回の発生で国内での報告の4/5を占めることになりましたが、数年おきに流行していることから今後も流行が考えられます。軽種馬群での大流行が報告されない中、重種馬群で多く発生するには理由があると推測しています。つまり、馬群として ECoV の抗体価が下がり、無防備な状態になった時に ECoV が入ると大流行していると思われますが、その感染ルートは今後の調査で解明できると期待したいところです。軽種馬群ではある程度の抗体価が維持され、重種馬群では維持されない理由としては、重種馬群の馬の移動や交流行事などが軽種馬に比較すると非常にローカルだということです。ばんえい競馬は世界で唯一の競馬であるため海外交流はありませんし、国内での草ばんばやお祭り行事の馬など、どのイベントをとっても競馬や乗馬の世界ほど馬の国内移動が多いわけではありません。そのことが、ウイルスに感作される機会が極端に低い状況を作り出し、ピュアな馬群を作る要因となっていると推察しています。

さいごに

ウマコロナウイルス感染症は馬体に長くダメージを残す感染症です。今回は、下痢症状を示した馬でも数日後には治癒に至りましたが、過去の報告では死亡例もあるため注意が必要です。また、糞口感染様式にも関わらず、糞便中に排泄されているウイルス量が非常に多いことから、伝播力もかなり強いため、一旦馬群に侵入すると容易に感染拡大を許してしまいます。本症の確定診断には糞便を用いたウイルス検査が不可欠です。したがって、馬群内で呼吸器症状を伴わない発熱や食欲不振を示す馬が複数頭発生した場合、あるいは次々と伝播していることが確認された場合は、直ちに検査を依頼することが必要です。特に注意すべき点として、下痢する個体は感染した個体の1割程度に過ぎず、その多くは発熱から数日後に下痢することがほとんどです。そのため、下痢症状を主な判断材料とすると、診断や検査の遅れにつながる可能性があります。ウマコロナウイルス感染症を疑う際には、発熱や食欲不振の集団発生に着目し、早期の検査実施を心掛けることが重要です。



EBMの理念 動物の医療を取り巻く環境は近年めざましい勢いで進歩しており、世界中で新しい医療技術や医療機器、医薬品および飼料の開発が行われています。

EBMトレーディングジャパン株式会社は先端医療のスペシャリストとして獣医療、特に馬に関する最新の医療製品や多様なサービスをお届けする体制の確立に努めるとともに、品質、安全、法令順守を最優先に考え、動物の医療現場のソリューションプロバイダーとして、皆様のお役に立てる企業を目指すことをお約束いたします。

Boehringer Ingelheim ベーリンガーインゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社



ガストログード®

動物用医薬品
馬用胃潰瘍予防治療剤
要指示医薬品 指定医薬品 使用基準



ハイオネート®

動物用医薬品
馬用非感染性関節炎治療薬



LMFシリーズ(配合飼料)

SUPER SUPPLEMENT (繁殖・当歳~18ヵ月令 蛋白質21%)
SUPER SUPPLEMENT Hi-Pro (繁殖・当歳~18ヵ月令 粗蛋白質30%)
RACE (競走・育成馬 粗蛋白質13%)
RACE Hi-Pro (競走・育成馬 粗蛋白質16%)
PERFORMANCE CONCENTRATE (競走・育成馬 燕麦無 粗蛋白質12%)
SENIOR (高齢馬)



EQUINE FIRSTシリーズ

AMINOLYTE (アミノライト) 電解質補給・分岐アミノ酸 (BCAA)
FLEX (フレックス) 関節のサポート
COOL CARE (クールケア) 胃腸のサポート
FOUNDATION HOOF (ファンデーション フーフ) 蹄のサポート
PRG-P (リカバリージェルパウダー) 筋肉のサポート
DIGEST Powder (ダイジェストパウダー) 生菌製剤・プロ/プレバイオテック パウダー
DIGEST Paste (ダイジェストペースト) 生菌製剤・プロ/プレバイオテック ペースト
B-RELAXED (ビーラックス) 馬の環境変化に

EBM Trading Japan KK
Evidence-based Biotechnology and Machinery

EBM トレーディング ジャパン 株式会社

本社 〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央2条5丁目3番31号 新札幌第一生命ビルディング2階
Tel. (011) 827-5960 Fax. (011) 827-5962 <http://www.ebmtrading.com>
関東支店・関西支店

良い草で良い馬を！ 牧草の品種開発で競馬産業に貢献！！

軽種馬向け牧草種子

採草地向け品種

チモシー

マオイ

PVP 海外持出禁止
(農林水産大臣公示有)



- ・早生品種
- ・初期生育に優れる
- ・収量性、再生力、耐倒伏性に優れる

放牧地向け品種

ケンタッキー
ブルーグラス

ラトー



- ・早生品種
- ・発芽と初期生育が良好
- ・越冬性、収量性、さび病抵抗性に優れる



雪印種苗株式会社 事業本部 事業統括室 種苗グループ
〒004-8531 北海道札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
TEL 011-891-5718 FAX 011-891-5788 <https://www.snowseed.co.jp/>

特別展「馬事文化財団設立50周年記念 日本競馬の国際化」

公益財団法人馬事文化財団 競馬博物館部

伊丹 徳行

JRA競馬博物館、馬の博物館、Gate J. 東京・大阪を管理運営する公益財団法人馬事文化財団は1976（昭和51）年の設立から50周年となります。また、2006（平成18）年に国際セリ名簿基準委員会（ICSC）において日本の「パートI国」昇格が決定されてから20年の節目を迎えることから、特別展「日本競馬の国際化」を10月3日（土）より開催いたします。東京競馬場にご来場の折には、ぜひご来館ください。

本稿では、日本競馬の国際化を紹介するうえでターニングポイントとなった出来事の一つとして、1981（昭和56）年の創設以降幾多の名勝負が誕生し、2024（令和6）年には「2023年ロンジンワールドベストレース」を受賞、世界1位の評価を獲得した日本競馬初の国際招待競走「ジャパンカップ」に焦点を当て、創設までの歩みを振り返ります。



「2023年ロンジンワールドベストレース」で世界1位を獲得した第43回ジャパンカップ（優勝馬：イクイノックス号）© JRA

国際化への第一歩

日本競馬の国際化の歴史は、日本中央競馬会が発足した翌年の1955（昭和30）年にその第一歩を踏み出しています。同年9月、当時のイギリス競馬の統括機関であるジョッキークラブが、日本中央競馬会に対し競馬国際協定の加入を承認しました。

2年後の1957（昭和32）年に日本中央競馬会が発表した『中央競馬運営方策要綱』のなかで「競馬の国際伸長」が方針に盛り込まれ、1958（同33）年には戦後初の海外遠征馬としてハクチカラが渡米（翌年日本馬初の海外重賞制覇）を果たしました。これは、同年3月に行われた北米の州競馬委員会全国協会（NASRC）¹の年次総会に初参加した日本中央競馬会代表団の

精力的な働きかけによって日米両国関係者の合意を得て実現したものでした。

活馬の輸入自由化と国際競走創設プランの打ち切り

1970（昭和45）年、日本中央競馬会は諸外国から競走馬を招待して国際競走を創設するプランを検討していました。4月には具体的な実施案を作成し、アメリカ、イギリス、アイルランド、フランスなど、主要各国の競馬統括団体に担当者を派遣し、国際競走開催の意向を打診しました。しかし、1971（同46）年に活馬の輸入自由化²が実施され、内国産馬が売れなくなると危惧した生産者が自由化反対の狼煙をあげている時期に、国際競走は時期尚早という結論に至り、プランは打ち切りとなりました。

JC プロジェクトの発足と招待馬の勧誘

ハクチカラの米国遠征以降、日本馬の海外挑戦はアメリカのワシントン D. C. インターナショナルをはじめとして続いていましたが、世界の壁を打ち破ることは叶わずにいました。1978（昭和53）年、この頃から日本中央競馬会内で使われるようになった言葉が「世界に通用する強い馬づくり」です。1979（同54）年には馬主、生産者、学識経験者らによる「馬事振興研究会」が発足、強い馬づくりのための方向性と方策が検討され、そのなかで国際招待競走の開催が浮上しました。

早速、競馬番組編成の担当部署が中心となり、外国招待馬の勧誘と施行時期、場所、距離、賞金、負担重量といった競走条件の素案作成が開始されました。

1980（昭和55）年、国際招待競走実施の鍵を握る招待馬の勧誘の動きは本格化し、アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランドの6ヵ国と、アジアからはサラブレッドの生産国で、国際的に通用する血統書を作成しているインドとトルコの計9つの競馬場・統括団体に向けてレース概要を記した計画書が送られました。3月には北・南米に担当者が派遣され、約1ヵ月に渡り直接関係者との折衝を行いました。7月には「国際招待競走実施のための準備連絡会」が発足し、出入国の際の検疫場所や期間、馬房や招待関係者の宿舎などの各種施設、レース当日のスケジュールなど、さまざまな角度から国際

競走の受け入れ体制が整えられました。

9月にはアジア・オセアニアでの折衝が行われ、招待予定の8カ国の勧誘がすべて終了しました。11月にはアメリカから招いた関係者が、競馬場をはじめとする関連施設を見学、実際に日本の競馬を見てもらうことで、国際競走を実施するうえでのアドバイスや詳細な意見交換が行われました。同時期にレース名が正式に決定、当初“東京インターナショナル競走”としていた競走名が“ジャパンカップ”へと改称されました。11月27日に開催された運営審議会^{*3}でジャパンカップの開催計画が了承され、その翌日各スポーツ紙は一斉にジャパンカップの実施を報じました。



多くの報道陣と関係者が見守るなか、第1回ジャパンカップに出走するインドの招待馬・オウンオピニオン号が到着。海外の現役競走馬の初来日となった。© JRA

記念すべき第1回開催に向けて

1981（昭和56）年1月、前年の秋に来日した関係者の協力を得て、アメリカ・ロサンゼルスで開かれたサラブレッド競馬協会会議（TRA）及びハリウッドパーク、サンタアニタの両競馬場において、ジャパンカップ開催のPRが行われました。

これと並行して、招待各国への正式勧誘、国際厩舎の建設、検疫期間、関連諸規程の改正、招待馬の輸送方法、装蹄、飼料、海外関係者向けのガイドブックの製作等、多岐にわたる準備や諸問題の解決が急ピッチで進められました。

そして5月、各方面に競走条件等詳細が正式に発表され、国際招待競走の実施目的が初めて明文化されるとともに、日本競馬史上初の国際招待競走「ジャパンカップ」の全容が姿を現しました。



第1回ジャパンカップ優勝賞品（日本中央競馬会賞）© JRA

＜報道関係者への発表内容＞

1. この競走は、わが国の一流馬を外国の一流馬と競走させることによって、日本馬の能力を正当に判断し、かつ日本の競馬関係者すなわち生産者、調教師等にそのことを認識させ、日本馬の能力を向上させることを最大の目的としている。
2. 日本の一流馬を海外の強い馬と競わせたい、というのが、日本の競馬ファンの夢であり、それもホームグラウンドで観戦したいというのが、ファンの願いである。そうしたファンの期待にこたえるとともに、競馬の持つスポーツ性を一般社会に強力にアピールしたい。
3. この競走を通じて、わが国の競馬を先進諸国に知らしめるとともに国際親善に寄与していきたい。

「ジャパンカップの歩み」

（1992年 日本中央競馬会発行）より



1981年 第1回ジャパンカップ 左が優勝したアメリカのメアジードーツ号（C. アスムッセン騎手）© JRA

- * 1 NASRCは1988年にARCIに改組。ARCIの総会は米・加・メキシコ各州の競馬委員会委員が競馬の諸問題を全米的な視野で話し合う会合であるが、毎年、南米やアジア、ヨーロッパからもオブザーバー参加があつて、重要な情報交換の場となっている。日本中央競馬会は1958（昭和33）年に初参加した。
- * 2 海外で未出走の競走馬の輸入が自由化された。当時の日本は外国から何かを購入する場合には、外貨を管理している政府の許可を受ける必要があり、外国産馬の輸入は主に種牡馬や繁殖牝馬に限られていた。
- * 3 日本中央競馬会法に基づいて設置された理事長の諮問機関で、日本中央競馬会の運営について審議する。運営審議会のメンバーは有識者、並びに馬主、生産者、騎手及び調教師の代表である。

リン酸チタニアの馬病原性細菌に対する殺菌効果ならびに馬飼養環境資材での継続的な殺菌効果の検証

鹿児島大学共同獣医学部 井上 永愛、帆保 誠二

はじめに

殆どの競走馬が体験するものの一つに輸送があります。競走馬は繊細な動物であることから、輸送は極めて慎重に行われますが、長時間の輸送に伴って輸送熱の発症率が高くなってしまいます。この輸送熱予防のために、長年にわたり数多くの研究や予防対策が実施されてきました。例えば、微酸性次亜塩素酸水の超音波噴霧器による空間噴霧では十分な除菌効果が得られましたが、馬運車という揺れを伴う環境下では超音波噴霧器の機能が十分に発揮されないため、現時点では普及に至っていません。一方、抗菌薬の輸送前投与は輸送熱予防に革命をもたらしましたが、薬剤耐性菌出現のリスクを考慮すると、今後も慎重使用に向けた取り組みが必要です。

本研究では、一旦施工すれば、その後の管理が容易で、馬の主要病原性細菌も死滅可能な「非光触媒コーティング剤」に着目しました。非光触媒コーティング剤は、光触媒コーティングとは異なり、その名の通り光のない環境においてもその効果を発揮し続けることが可能です。既に、国立競技場、国立劇場、熊本城をはじめとした様々な屋内外施設や、公共交通機関にも幅広く応用され、その有効性が高く評価されています。

本研究では、リン酸チタニアの殺菌効果について *in vitro* 試験及び馬房内試験を実施することで、馬の感染症対策に貢献できる可能性を検証しました。

in vitro 試験での検証

本研究で使用したリン酸チタニアは、これまで市販されてきた商品からエタノール（競馬出走馬では禁止薬物）成分を除去した「SRW-30S」（YOO コーポレーション、大阪）です。

試験は、馬の患部から分離された黄色ブドウ球菌（主にフレグモーネや皮膚炎の原因菌）、大腸菌（主に下痢、子宮炎、肺炎の原因菌）、連鎖球菌（*Streptococcus equi* subsp. *zooepidemicus*；主に肺胸膜炎や子宮炎の原因菌）及び *Rhodococcus equi*（主に子馬の肺炎の原因菌）を用い、馬飼養環境で汎用されている3種類の資材（ベニヤ板、エステル帆布、ゴムマット）でのSRW-30Sの殺菌効果を検証しました。こ

れらの資材は、滅菌蒸留水（Control）あるいはSRW-30Sで微細スプレーコーティングにより加工され、供試されました。*in vitro* 試験では、加工各資材に各種細菌（2億個／2mLの菌液）を暴露し、経時的な細菌数の変化を確認しました。

試験の結果、SRW-30Sは供試した各種病原性細菌を経時的に死滅させ、試験開始後24時間では100万分の1以下に減少させ、さらに試験開始後48時間後には完全死滅させました。このことから、SRW-30Sは極めて多数の馬の主要病原性細菌を比較的短時間のうちに完全死滅可能であることが確認されました。

馬房内試験での検証

続いて実施した馬房内試験では、*in vitro* 試験と同様にSRW-30Sを滅菌蒸留水（Control）あるいはSRW-30Sで微細



図1 馬房内試験の様子
左）馬房内に資材を設置 右）設置資材から細菌を採材

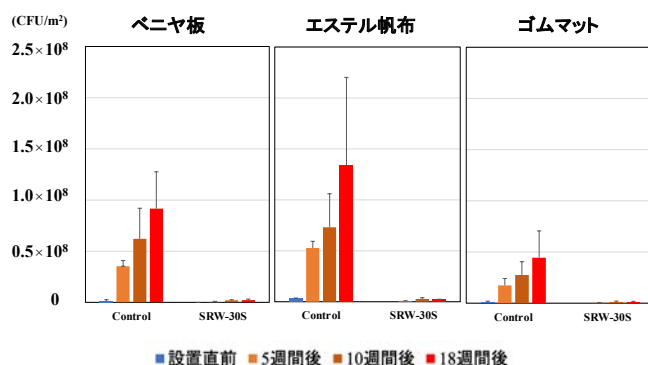


図2 馬房内試験／3種類の資材での経時的な細菌数の変化
加工各資材での分離細菌数は、Controlに比べ著しく少ないが、経時的に増加しました。

スプレーコーティングにより加工した資材を供試しました。加工各資材を、馬を継続的に飼養している馬房の壁に設置し、経時的な細菌数の変化を検査しました(図1)。

試験の結果、加工各資材から分離される細菌数は Control に比べて著しく少なくなることが確認されました(図2)。しかし、寝糞やオガ粉が存在する馬房内では、SRW-30S 加工資材であっても細菌数は少ないながらも経時的に増加しました。そこで、加工各資材の馬房内設置18週間後に、加工各資材を水道水を用いて軽く清拭し、乾燥後の細菌数を計数したところ、SRW-30S 加工各資材からの細菌分離はゼロとなりました(図3)。

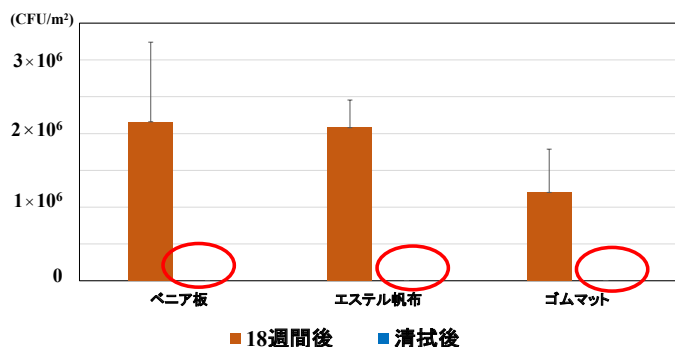


図3 馬房内試験／清拭前後の細菌数の変化
馬房内に 18 週間設置後の加工各資材を清拭、乾燥すると、分離細菌数は 0 CFU/m² になりました。

試験のまとめ

これらの試験により、SRW-30S 加工各資材は馬の主要病原性細菌を含む細菌を短時間のうちに死滅させ、その効果は馬房内においても証明されました。また、加工各資材が汚れてきた場合は、水道水で清拭、乾燥することで SRW-30S の殺菌効果が復活し、細菌分離はゼロとなることから、定期的な水拭き清掃により、馬房内資材の清浄化が可能であることが明らかとなりました。

SRW-30S の効果発現メカニズムと安全性

SRW-30S を含む非光触媒コーティング剤のコーティング面と細菌、ウイルスあるいは真菌(カビ)が直接接触し、ラジカル反応をはじめとした機能により物理的にそれらが破壊されるとともに、アンモニアを含む悪臭成分が分解されると考えられています(図4)。

寝糞やオガ粉をはじめとした資材等に由来する汚れが、SRW-30S コーティング面に付着している場合には、その効果を十分に発揮することができなくなる可能性が生じます。そのため、定期的な水道水での清拭、乾燥は SRW-30S の効果を継続的かつ十分に発揮するために必要です。

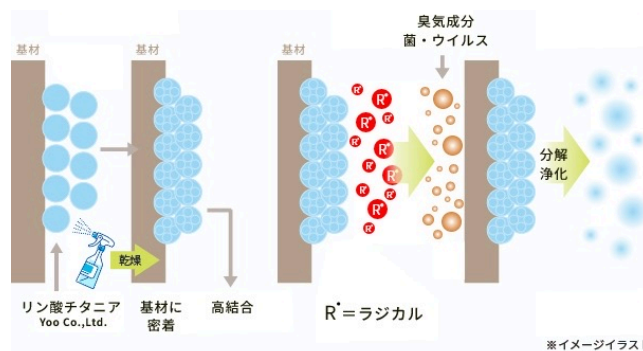


図4 抗菌、抗ウイルス、消臭メカニズム

コーティングにより堆積した粒子表面において、ラジカル反応を主体とした機能により殺菌効果、殺ウイルス効果、脱臭効果が得られます。YOO コーポレーション HP (<https://yoo-corporation.com/>) より引用

SRW-30シリーズをはじめとしたエコキメラの加工資材での耐摩耗性はすでに確認されており、これまでの実績からは数年単位の効果が持続することが確認されています。

リン酸チタニアは、微細スプレーコーティングにより比較的容易に施工できますので、布製品や革製品も加工可能です。布製品の場合は、数十回の洗濯を繰り返しても効果が持続することが確認されています。

このように、SRW-30S は殺菌効果、抗ウイルス効果、抗カビ効果に加え、アンモニアを含む悪臭原因物質を短時間のうちに減少させる効果もあります。実際に SRW-30S をコーティングしている厩舎では、臭気改善も実感できます。

各種リン酸チタニアについては、公的機関での急性経口毒性試験、皮膚刺激性試験、皮膚感作性試験、変異原性試験、急性吸入毒性試験が実施され、その安全性が確認されています。また、SRW-30S の馬での安全性については、我々の試験により確認されています。

さいごに

本研究において、SRW-30S をコーティングされた資材(ベニア板、エステル帆布、ゴムマット)は、馬の主要病原性細菌を短時間のうちに死滅することが証明されました。ベニア板、エステル帆布及びゴムマットは、馬飼養環境や馬運車内に汎用されていることから、馬が感染症を発症する可能性は低くなることが期待されます。

輸送熱をはじめとした各種感染症は、馬の体調を含めた複合的な要因から発症することから、SRW-30S の施工のみで安心することなく、馬の体調管理や飼養環境の衛生管理も継続することが重要であると思います。

心身ともに健康な状態で、馬が疾走できることを願っています。

英国の調教について(マイケル・スタウト厩舎)①

日本中央競馬会 日高育成牧場 調査役

竹部 直矢

本連載も残り2回となりました。最後は英国ニューマーケットのトップトレーナーであるマイケル・スタウト厩舎についてご紹介したいと思います。

マイケル・スタウト厩舎について

マイケル・スタウト調教師は、ニューマーケットに厩舎「フリーメイソン・ロッジ・ステーブル (Freemason Lodge Stables)」を構える英国のトップトレーナーです。過去に4,000勝以上を挙げ、6回の英ダービー勝ちを記録し、10回のチャンピオントレーナーに輝いている英国を代表する調教師ですので、ご存じの方も多いかと思います。

過去の代表的な管理馬は枚挙にいとまがなく、英愛ダービー馬シャーガーや、日本に種牡馬として輸入された馬だけでも、オペラハウス、キングズベスト、コンデュイット、ワークフォース、ハービンジャーなどがいます。ジャパンカップにも9回参戦し、96年のシングスピール、97年のピルサドスキーで連覇を果たしています。筆者が研修をした2023年には、英国競馬の殿堂入りを果たされました。

2024年末をもって惜しまれながら引退されたため、その直前期にあたる筆者の研修時期は管理頭数を全盛期の半数以下に縮小していましたが、その中でも2022年に無敗で英ダービーを制したデザートクラウンや、英チャンピオンステークス勝ち馬のベイブリッジが出るなど、引退間際まで活躍されていました。

マイケル・スタウト厩舎の調教メニュー

レーシングステーブルであるスタウト厩舎では、当然ながらレースに向けた調教が行われています。1週間で

6日が調教日で1日は休馬日となっています。概ね、以下の通り曜日ごとに調教内容が決まっています。

月曜：軽め調教 (Easy)

火曜：通常調教 (Normal)

水曜：追切り調教 (Work)

木曜：軽め調教 (Easy)

金曜：通常調教 (Normal)

土曜：追切り調教 (Work)

日曜：休み

週2回程度の強い調教日が設定されていますが、馬ごとの状態に合わせて調教が行われます。また、英国では日本の中央競馬とは違い、週末だけでなく平日にも競馬が行われているため、レースの出走予定に合わせてメニューが決められ、日曜日にも一部の馬の調教が行われます。

調教の流れとしては、馬装後厩舎敷地内の円形の馬場で、20分間集団で常歩を行います。体力が有り余っている馬はその前に30分程度のウォーキングマシン運動も行い、少し発散させた状態で騎乗します。その後、各馬は自身のメニューに合わせた調教馬場へ移動していきます。

ニューマーケットの調教馬場

スタウト厩舎の調教内容の紹介に入る前に、ニューマーケットの街と調教施設について触れたいと思います。ニューマーケットは英国のサフォーク州にある競馬の街で、多くの著名な調教師が厩舎を構えています。クラシック競走の第1戦である1000ギニー、2000ギニーが行われるニューマーケット競馬場があり、英国競馬の中心地で

あると言えます。過去の日本馬の活躍としては、2000年に夏のスプリントG1ジュライカップをアグネスワールドが制したことで知られています。また、英国における競走馬の生産地としても中心的な役割をしています。筆者が研修を行ったジャドモントファームをはじめとした大牧場が密集しており、主要な種牡馬もほとんどがここに繋養されていることから、効率的に生産が行われる環境となっています。

街の中心地に隣接して数々の調教場があり、周辺には約80の調教師厩舎が並んでいます。街中の歩道には馬道が併設されていて、すぐ傍を走る車にも驚かずに馬が歩いて移動しながら厩舎と調教場間を行き来しています。横断歩道には馬用の信号ボタンも設置されている箇所があり、まさに馬とともに生きる街だということがよくわかります。



写真右から車道、歩道、馬道の順に通路が設置されているニューマーケットの街道

ニューマーケットの調教場は、英国ジョッキークラブが管理運営しています。2500エーカー（東京ドーム約870個分）の広大な敷地の中に、大小様々な調教場が存在します。芝コースとポリトラックコースがそれぞれ約20本ずつ存在しており、調教師は目的に合わせてコースを選択して調教を行います。これらの内、マイケル・スタウト厩舎で利用頻度の高かったコースについて調教内容とともにご紹介します。

主要調教場「ウォーレンヒル」

調教場エリアの中央付近で、市街地の近くにあるのが最も有名で利用頻度の高いウォーレンヒル（Warren

Hill）です。2本あるポリトラック素材の坂路馬場で、全長は約900mあります。はじめは緩やかな上り坂ですが、最後の2ハロンで約40m上る急勾配になっています。多くの厩舎がルーティーンワークの場として利用しており、全調教コースの中で最もよく利用されているコースです。ジョッキークラブの発表によると、月に延べ16,000頭が調教を行っています。



ポリトラック素材の「ウォーレンヒル」

この調教馬場では主にルーティーンワークの調教が行われます。ここでの調教は2～4頭が1組の群で行われ、組ごとにまとまった一列で坂路を上がってきます。ルーティーンワークとしての調教強度は15秒/ハロン程度で、基本は1日に1本、多い日で2本行われます。多くの厩舎が類似した調教を行っており、ベースとなる調教の場として使用されるため、最も使用頻度の高い調教場となっています。



少頭数の群ごとに間隔を空けて調教が行われている

追切り調教を行う「アルバハスリ」

アルバハスリ（Al Bahathri）は、ニューマーケット調教馬場で愛1000ギニーなどを制し、母としても英2000ギニー勝馬を産んだ名牝の名前を冠した調教場です。



追切り調教に使用される調教場「アルバハスリ」

馬場の全長約9Fのポリトラックコースで、高低差は約15m程度、傾斜は最大でも1〜2%の概ねフラットな造りとなっています。ここは「Work（追切り）」の場として各厩舎に使用されており、追切りを行う馬が多い水曜と土曜が特に混みあっています。

スタウト厩舎では単走から3頭併せで調教が行われ、最速で11秒/ハロン台の速い調教が行われます。コースの前半部分に丘のようにアップダウンが急な部分があり、特に下り坂で馬がバランスを崩したりペースが変わりがちになるため、ここを良いバランスとペースで乗りこなして最後のスパートに繋げるかが乗り手の技量が問われる部分であるようです。以前の稿で、競馬場に豊富なアップダウンが存在することをご紹介しましたが、調教場にも同様の要素があり、レースにつながる調教が行われていると感じました。



日本の厩舎同様、追切りは併せ馬でしっかりと追われる

芝調教馬場「ライムキルنز」

最後は天然芝の調教場、「ライムキルنز (Limekilns)」です。200エーカー（東京ドーム約17個分）以上の広大な芝生に白いマーカーを設置することで、8ハロンが2本、12ハロンが2本の計4本のコースが設定されています。



広大な芝の中にマーカーでコースが設定されている「ライムキルنز」

この調教馬場では主に追切り調教が行われていました。英国の競馬場はほとんどが芝コースですので、実践に近い環境で調教を行うことができます。一方で、この馬場の使用頻度は低く、乾燥しすぎず、ぬかるみ過ぎない馬場状態のタイミングのみ使用されます。この理由は芝保全の目的と、馬の肢元の負担軽減のためです。特に乾燥している時は、現地の泥炭質の土は硬くなるため、馬の四肢の負担が大きくなります。これらを守るために、ジョッキークラブは馬場が使用可能かどうかのレポートを発行し、調教師はそれを確認してメニューを確定しています。



追切り調教の様子を観察するマネージャー達

競馬に携わるすべての人に JRA-VAN TARGET

市場取引馬データ



調教師ごとの
調教データ一覧



生産者・馬主ごとの
データ分析



種牡馬の傾向分析



JRAシステムサービス株式会社

JRA-VAN TARGET



エクエヌテクト®ERP

馬鼻肺炎生ワクチン(シード)



その他の馬用ワクチン

日生研日本脳炎TC不活化ワクチン

エクエヌテクトFLU

日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン

エクエヌテクトJIT

日生研馬ロタウイルス病不活化ワクチン

破傷風トキソイド「日生研」



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009(営業部)

URL <https://www.jp-nisseiken.co.jp>

海外研修報告③ (Newmarket Equine Hospital、Baker McVeigh)

公益財団法人 軽種馬育成調教センター 診療課 診療係長 多田 健一郎

はじめに

このたび、令和7年度軽種馬経営高度化指導研修事業に選出され、2025年8月18日から10月12日の日程で、英国での海外研修を行いました。本号では9月15日から9月28日まで滞在した Newmarket Equine Hospital (NEH) および9月29日から10月9日まで滞在した Baker McVeigh での研修概要をご報告します。

NEH

ニューマーケットの馬専門二次診療施設として最大の規模を持ち、手術室が2つ、検査室が5つ、ICU を含む入院厩舎が5棟ありました。高度画像検査も可能で、シンチグラフィや立位 MRI、移動式 CT を所有しており、新たに CT 検査室も建設中でした。

訪問した時期は平地競走のシーズン終盤であり、喉の検査と手術が多く、運動時内視鏡検査と喉頭手術がほとんど毎日行われていました。

スポーツホースの背部痛 back pain

競走馬以外のスポーツホースの来院も多く、プアパフォーマンスや長期経過の跛行症例などの検査を行っていました。跛行診断から画像検査までひととおり帯同できた症例について紹介します。円馬場でのランジングでは手前によって異なる動きをみせ、直線でも一貫性のない跛行でした。これまでに明らかな異常所見が得られたことはなく、数ヵ月ぶりに来院したとのことでした。続いて行ったシンチグラフィ検査では、複数の胸椎椎体背側領域に反応が得られました。そこで、X線検査を行いました。棘突起の軽度骨硬化のみでした。超音波検査では棘上靭帯に配列の異常および肥厚、骨表面の異常が検出されました(写真1)。超音波検査にお

ける線維配列異常や棘突起付着部の裂離像は、明らかな症状のない馬でも偶発的にみられることがあるため、画像所見の臨床的な意義については慎重に判断する必要があるとのことでした。

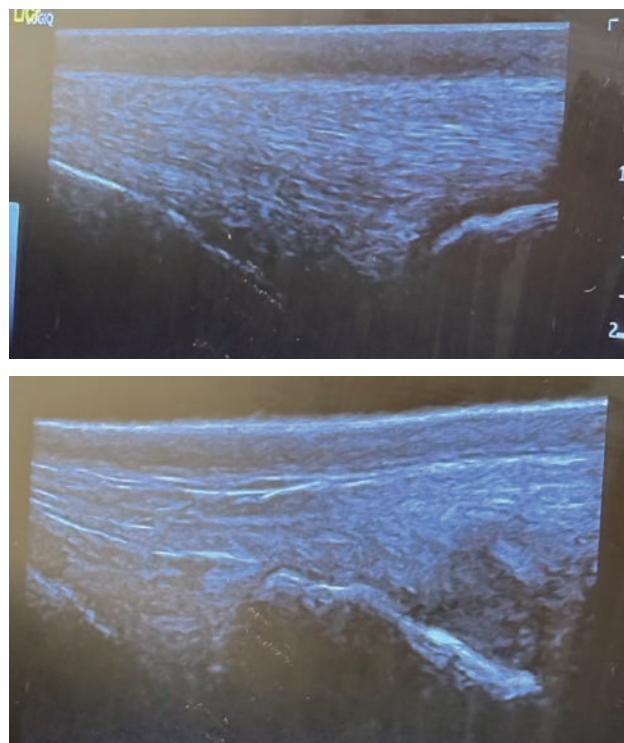


写真1 棘上靭帯の長軸断面

A: 正常像 靭帯配列が一樣で、棘突起の骨表面も滑らか。
B: 異常像 靭帯配列が不均一で、棘突起表面は不整、骨片様に裂離した部分もみられる。

椎間関節 (facet joint) は胸椎や頸椎においてよく検査される部位で、超音波検査およびガイド下での投薬および関節液の採取が行われています。胸椎における facet joint の形態学的評価では、棘突起と関節は椅子のような形状に例えられ、シートの部分の凹凸が関節の不整を表しています。頸椎の facet joint 関節炎でよく見られる臨床症状は、騎乗時の前肢前方短縮で、特に円運動では外側の前肢が前に出づらくなるほか、駈歩から速歩への移行時により顕著にみられることが多いとのことでした。複数の関節に異常所見が見られることがあり、左右からマイクロコンベックスプロー

ブを用いて検査し、関節液の増量や関節間隙の異常を検出していました（写真2）。関節穿刺はエコーガイドで行われますが、2方向から目印をつけておいて、横断画像でのガイドを行っていました（写真3）。この方法の利点は針の刺入経路が捉えやすいことを挙げていました。深部への投与となるため、18または20ゲージのスパイナル針を用いていました。

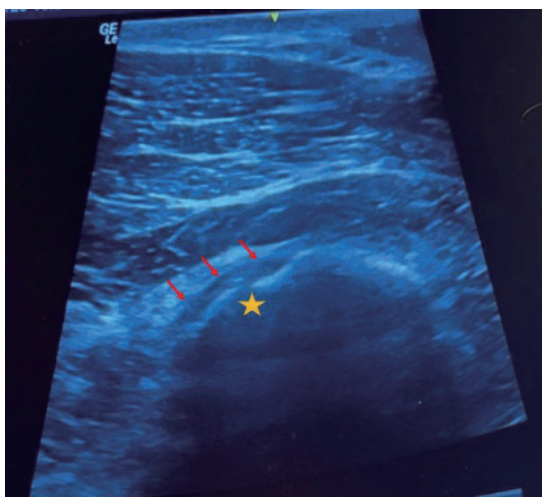


写真2 facet joint のエコー画像
☆関節の間隙 ↓関節包と増量した関節液
関節液の増量がみられた症例で、穿刺して回収した関節液の粘調性は低く、関節内へのメチルپردニゾロン投与が行われました。



写真3 頸椎の facet joint 穿刺のための局所麻酔
関節穿刺にはいくつかの方法がありますが、術者の好みによって選択されていました。白いマーカを2カ所に描いて、その交点が投与部位となるようにしていました。

経静脈電氣的除細動 TVEC Transvenous electrical cardioversion

エジンバラ大学の John Keene 先生や Lesley Young 先生

生を中心としたチームが NEH に来院して治療を行っていました。症例はサラブレッドより少し大型のスポーツホース種で、術前検査で Lone AF（心臓の構造や機能に問題がない持続的な心房細動）と診断されていました。立位鎮静下で右側の頸静脈にポートを設置して、電極カテーテルを肺動脈と右心房内まで進めていました。カテーテル先端をエコーで確認しながら、圧波形でもモニタリングしてポジションを確認していました。大型X線で胸部を撮影し、カテーテルの位置を確認してから倒馬室に移動し、全身麻酔への導入が行われました（写真4）。全身麻酔下では右を上にした側臥位で保定され、再び心エコーと圧波形を参考に電極カテーテルの位置を微調整していました（写真5, 6）。除細動器は Stryker 社の LIFEPAK12が使用され、1回の電気

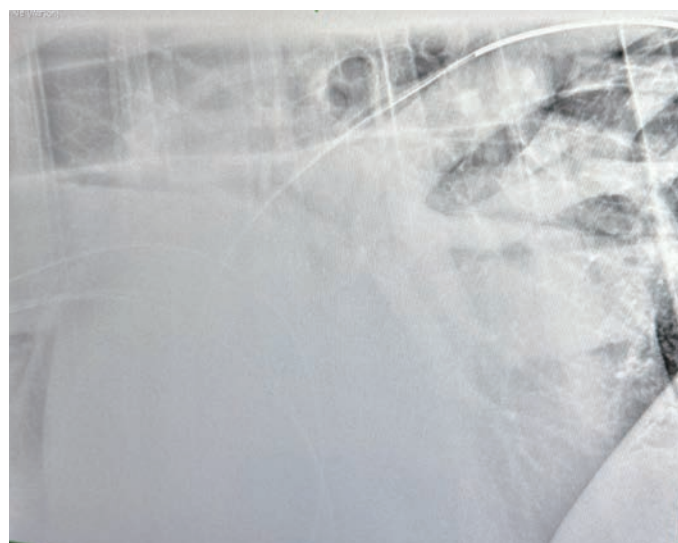


写真4 X線検査での電極位置確認
全身麻酔導入前にX線検査室に移動して胸部X線検査を行っていました。肺動脈と右心房に電極の先端があることを確認していました。



写真5 TVEC 導入後
全身麻酔導入後は手術台に移動してモニタリング機械および除細動器（写真右）を接続していました。

刺激で洞調律に戻ったことが確認されました。10分間は全身麻酔で維持したままモニタリングが継続され、洞調律の維持が確認された後に覚醒室へと移動しました。翌朝には聴診で確認が行われましたが、ホルター心電図でモニタリングする場合もあるとのことでした。



写真6 TVEC 電極位置の調整
カテーテル操作、心エコーガイド、圧波形モニタリングに分かれて、3人が協力して電極位置の調整をしていました。

一般的な乗馬であれば、心房細動は必ずしも除細動が必要とはならない場合もあります。一方で、投薬が安全でない大型馬や、より高いパフォーマンスと安全性が求められる競走馬では除細動の選択肢のひとつとしてこの手術が重要になるとのことでした。

Baker McVeigh

Baker McVeigh は南アフリカで創業され、ヨーロッパからアジアまで幅広く病院を持つ、競走馬の治療やコンディショニングを得意とする獣医グループです。ニューマーケットでは主に競走馬やセリ馬についての診療に帯同しました。また、ニューマーケット近郊のリハビリ牧場の見学もさせていただきました。

Longholes Equine Therapy Centre

ニューマーケットの中心部から車で10分ほどに位置し、獣医師が頻繁にモニタリングに来ることができるほか、調教師も様子を見に来やすいことが利点であるとのことでした(写真7)。ニューマーケットでも日本と同様に、長期休養が必要な馬はプレトレーニングの牧場やコンサイナーに放牧に出ることがあるそうで、調教師が状態を把握できないことが多いという事情があるようです。



写真7 Longholes Equine Therapy Centre
ニューマーケット中心部から車で10分以内と近く、Baker McVeigh の獣医師が少なくとも2週間に1回は定期チェックに訪れるとのこと。



写真8 ウォータートレッドミル
馬がなかに入ってから水を満たす構造のため、運動開始するまでに少し時間がかかります。骨折や屈腱炎など負重をできるだけ制限したいときに用いられますが、使用頻度はそこまで高くないとのこと。

施設内にはトレッドミル、ウォータートレッドミル、スパ、ソルトルームが設置されていました(写真8)。一方で運動できる馬場は円馬場と角馬場のみで、騎乗運動が十分にできるような広さの馬場はありませんでした。したがって、騎乗再開できるようになるまでをいかにスムーズに進めるかに重点を置いてリハビリメニューを組んでいるとのことでした。リハビリのために入厩していた馬の疾患は繋靱帯炎、浅屈腱炎、球節炎、腕節骨折など様々でした。リハビリプログラムの1例として、繋靱帯炎や浅屈腱炎では発症後4ヵ月までは騎乗せず、トレッドミルやウォータートレッドミルを用いて徐々に負荷を増やしているとのことでした。画像検査や臨床検査をもとに、できるだけ再発のリスクを減らすよう、慎重にリハビリプログラムを組んでいる印象でした。

Thoroughbred Breeders Club



大切な愛馬の万が一に備えて、安心をあなたに ブリーダーズクラブの競走馬保険

オプション特約を付けることで、競走馬保険の補償範囲が広がり、皆様の愛馬の様々なリスクをカバーします。

セリで愛馬を
ご購入の際は、
保険加入を
ぜひご検討
ください

育成馬

生後1か月から
明け2歳の
4月30日までなら

- 腰痠症候群補償特約
- 育成馬競走能力喪失補償特約
- 水災補償特約

で若い愛馬の不測の事態に備えます。

競走馬

明け2歳の
5月1日から
なら

- 競走能力喪失補償特約
- 競走能力喪失見舞金補償特約
- 手術見舞金特約
- 屈腱炎補償特約

で競走中や調教中の思わぬ事故に備えます。

繁殖牝馬

なら

- 異常出産危険補償特約

でお腹の愛馬もしっかり守ります。

※上記のオプション特約は一つの例です。
特約の内容や保険料率につきましては、弊社までお問い合わせください。

保険期間1年の競走馬保険に加入した場合のモデル

	保険金額	保険料
基 本 条 件	500万円	160,000円
	1,000万円	320,000円
	2,000万円	640,000円

※基本条件には「火災・落雷補償特約」「法定伝染病補償特約」を含みます。
※地方競走馬(全国可)、種牡馬の保険もごさいます。お気軽にご相談ください。

お申込み、お問い合わせは

☎01456(2)2121

ブリーダーズクラブ 遠藤・福島まで

三井住友海上火災保険株式会社 代理店

損害保険ジャパン株式会社 代理店

東京海上日動火災保険株式会社 代理店



(株) サラブレッド・ブリーダーズ・クラブ

〒055-0004 北海道沙流郡日高町富川東3丁目3番1号
TEL 01456 (2) 2121・2122 FAX 01456 (2) 2505



一緒に働くスタッフを募集しています。

詳細はお電話でのお問い合わせ、
またはウェブサイトをご覧ください。

Tel:0123-21-2311 (担当: 佐藤、青田)

リクルートサイト



杜台ファーム

〒069-1181 北海道千歳市東丘 1288-140

社台ファーム鈴鹿 〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町 136
山元トレーニングセンター 〒989-2111 宮城県亘理郡山元町坂元一ツ橋 1
日高社台ファーム 〒059-2121 北海道沙流郡日高町門別本町 16
社台ブルーグラスファーム 〒059-2127 北海道沙流郡日高町旭町 23



馬術に関するトピックス満載

日本馬術連盟では、毎月1回 機関誌『馬術情報』を発行しています。
国内の主要競技会、日本選手の国内外での活躍、海外の情報、その他馬にかかわるトピックス満載です！



月刊 馬術情報 Japan Equestrian Federation Journal



公益社団法人
日本馬術連盟

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16
TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617
<https://www.equitation-japan.com>

購入・購読のお申し込み方法

毎月1日発行 A4サイズ／約48ページ

定価 550円 (送料・消費税込)

年間購読 12冊 5,500円 (送料・消費税込)

■お申し込み方法

ハガキ・FAX・ウェブサイトから、下記事項を明記のうえお申し込みください。

代金の入金確認後に発送いたします。

- ① お名前 (ふりがな)
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 下記のいずれかを明記してください
 - ・1冊のみ購入希望の場合は希望月
 - ・年間購読希望の場合は購読開始月

■お支払い方法

下記のいずれかの方法でお支払いいただけます。

- ◎銀行振込 : 三菱UFJ銀行 本店
(普) 1447629
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジュツレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎郵便振替 : 00150-2-31103
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジュツレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎現金書留 : 〒104-0033
東京都中央区新川 2-6-16
馬事畜産会館 6F
公益社団法人 日本馬術連盟
総務部『馬術情報』係

※個人情報「馬術情報」発送の目的以外には使用いたしません。

★BTC 調教場利用 重賞競走 優勝馬一覧 (2026年6月～8月分) 関係者の皆様、おめでとうございます。

(中央競馬)

- ・スズカハービン 牡6歳 東京ジャンプ SJ G III (2026/06/13・東京)
- ・ピューロマジック 牝5歳 函館スプリント S G III (2026/06/13・函館)
- ・メイショウタバル 牡5歳 宝塚記念 G I (2026/06/14・阪神)
- ・エルトンパローズ 牡6歳 しらさぎ S G III (2026/06/21・阪神)
- ・ファウストラゼン 牡4歳 函館記念 G III (2026/06/28・函館)
- ・フリッカージャブ 牡4歳 北九州記念 G III (2026/07/05・小倉)

- ・フェリチタ 牝2歳 函館2歳 S G III (2026/07/19・函館)
- ・マテンロウコマンド 牡4歳 東海 S G III (2026/07/26・中京)
- ・ピューロマジック 牝5歳 アレクサマダッシュ G III (2026/08/02・新潟)
- (地方競馬)
- ・サンデーファンデー 牡6歳 マーキュリー C Jpn III (2026/07/20・盛岡)
- ・レイバックスピン 牝4歳 ブリーダーズゴールド C Jpn III (2026/08/27・門別)

あ・と・が・き

- ★今夏も全国各地で記録的な猛暑となり、最高気温を更新する地域もありました。また、猛暑が続く一方で、天候の急変による大雨など、各地で自然災害が発生しています。近年、台風や大雨、地震など災害が相次いでいることから、日頃から避難経路等を確認し、備えておくことが大切です。さて、場内では屋内1000mトラック馬場等の工事が順調に進み、来年の竣工が待たれるところです。1歳馬の入りきゅうも進み、来年に向けた調教が始まっています。本年度は工事等により利用者の皆様にご不便をお掛けしておりますが、ご理解とご協力に感謝申し上げます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。(K.H.)
- ★BTC第44期生の研修は後半に入り、先月からJRA日高育成牧場で馴致実習が始まりました。これまで教育用馬で基礎を学んできた研修生も、育成馬を人に慣らし、騎乗調教へ進めるための馴致に取り組んでいます。JRA職員の馴致を真剣に観察し、実践的な経験を積もうと日々励んでいます。後半は育成馬を使った騎乗実習に加え、就職活動も本格化し、インターンシップや面接などが始まります。けがや体調管理に留意し、充実した研修期間となることを願っています。引き続き、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。(K.S.)
- ★今回の第145号では、軽種馬生産地における寄生虫管理やウマコロナウイルスなど、馬の健康を守るための調査研究をはじめ、日本競馬の国際化の歩み、英国ニューマーケットの調教事情など、幅広い内容をお届けしました。日々の馬づくりを支えるさまざまな取り組みや、国内外の競馬を取り巻く環境について、改めて知る機会となれば幸いです。(K.M.)

BTC ニュース 2026年(4) 第145号

発行日：令和8年10月1日

発行：公益財団法人 軽種馬育成調教センター TEL 0146 (28) 1001 (代)

FAX 0146 (28) 1003 e-mail: kyoiku_fukyu@b-t-c.or.jp

〒057-0171 北海道浦河郡浦河町字西舎 528

編集責任者：大地 潤 編集：小林 光紀 制作・印刷：西谷印刷株式会社 〒135-0022 東京都江東区三好 2-1-4

※BTCニュースに関するお問い合わせ、配達先変更・配送中止のご連絡は、下記にて受け付けております。また、BTCニュースはBTCホームページからもご覧いただけます。



HP



BTCニュース

フランス製 PVC 馬場柵

人と馬にやさしい馬場柵をお届けします



安全性、経済性を追求した紫外線にも強い PVC 素材の馬場柵です

TÉKIDÉ

欧州と中東を中心に世界各地で半世紀の販売実績を持つフランスのPVC(ポリ塩化ビニル)馬場柵メーカー「エコファブ社(旧 Fornells 社)」の製品をご紹介します。

エコファブ社の馬場柵(TÉKIDÉ)は、凱旋門賞が行われるロンシャン競馬場でも採用されています。



JRAファシリティーズ株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目19番9号 ジオ八丁堀
TEL 03(6631)9007 FAX 03(6631)9017

<http://www.jra-f.co.jp/>

詳細は
Webで

JRAF

検索



GREEN Web
CHANNEL

GREEN
CHANNEL

BS234ch

絶・賛・放・送・中 !!

グリーンチャンネルは中央競馬全レース中継をはじめ、
地方・海外競馬中継、展望番組なども放送中！

GREEN
CHANNEL
?
を見るには

スカパー! (BS234ch)、スカパー!プレミアム/光 (688・689ch)、J:COM、eo光テレビほか、全国のケーブルテレビ局、ひかり TV、au ひかりからご覧いただけます。また、グリーンチャンネル Web (マルチ会員 1,000 円税別/スマホ会員 500 円税別) で、外出先でもお楽しみいただけます。

グリーンチャンネルの視聴方法・番組内容に関するお問い合わせ
または、お客様コール 03-5620-3344 (10:00~17:00 年末年始・祝祭日は除く)

グリーンチャンネル

検索

競走馬専用

電解質&ミネラル補給

グランプリ

ESS

Electrolytes
エレクトロライト

Supply
サプライ

Supplement
サプリメント



ESS 5 kg
缶の使用量目安

1 頭 40 g → 125 日分

5 頭 40 g → 25 日分

10 頭 40 g → 12.5 日分

日々の管理（調教等）で
消耗する体内の
電解質&ミネラルを補填

組成と併せて嗜好性も重視し、
アップルフレーバーを配合



競走 & 調教時の発汗が目立つ場合は、
汗とともに体外に流失した電解質 & ミネラルを
カイバに添加して補充充填しましょう。

お客さま
窓口

株式会社岩崎清七商店 競走馬事業部
〒100-6309 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル9階912区
【発売元】JRAファシリティーズ株式会社 栗東事業所
〒520-3005 滋賀県栗東市御園1028栗東トレーニング・センター内

<http://www.s-iwasaki.jp>
TEL 03-3201-1666 FAX 03-3201-0028

TEL 077-558-0320